

平成29年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

ウーリークラブ ～吉備の里山で子育て～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

吉備の里山での活動や、講師による子育てに関する講義を受けることで、幼児期の体験活動や基本的な生活習慣を身に付けることの重要性を知る。

2. 事業の概要

（1）期日

第1回 6月11日（日）日帰り

第2回 9月10日（日）日帰り

第3回 11月18日（土）～11月19日（日）1泊2日

第4回 2月10日（土）～ 2月11日（日）1泊2日

（2）参加者

① 募集対象・人数

幼児（未就学の4、5、6歳児）とその保護者10家族
全4回に参加できる家族

② 登録人数 50人（13家族）

各回参加人数

第1回 45人（12家族）

第2回 47人（13家族）

第3回 20人（6家族）

第4回 22人（6家族）

（3）講師等

第1回 岡山県シェアリングネイチャー協会 勝間 光洋 氏

第2回 NPO法人ほっとはあと理事・保育士 隅田 浩美 氏
OKAYAMA Tree+ing CLUB 遊木皆 代表 藤原 基勝 氏

第3回 NPO法人ほっとはあと理事・保育士 隅田 浩美 氏
岡山県シェアリングネイチャー協会 永井 義彰 氏

第4回 NPO法人岡山市子どもセンター代表理事 美咲 美佐子 氏

（4）企画・運営のポイント

- ① 参加する家族が継続して自然体験や学習をしたり、家族間交流を図ったりすることができるように1年を通して全4回シリーズの事業として計画をした。
- ② 幼児を対象としていることから、無理がなく参加できるように前半2回を日帰り開催にし、乳児の弟妹のいる家庭の為に託児を設けるようにした。
- ③ 家族のシンボルとなる木（ファミリーツリー）との交流をプログラムに組み入れ、毎回観察をすることで、季節による里山の変化を感じられるようにした。
- ④ 第4回目は、ウリソツクラブのメンバーと交流が深まる内容（仲間づくりゲームや調理体験など）にし、次年度への参加や活動に繋がるようにした。

3. 活動の内容等

(1) 日程

第1回 6月11日(日)			
9:30	受付	12:30	ファミリーツリー
10:00	はじめましての会	13:00	吉備の自然を探検しよう
11:00	きびの自然と家族になろう	14:00	ネイチャーゲーム
12:00	昼食(お弁当)	16:00	またねの会

第2回 9月10日(日)			
9:30	受付	12:00	昼食
10:00	おひさしぶりの会	13:00	ファミリーツリー
10:15	保護者プログラム 講義「気付いていますか?子どものサイン」 子どもプログラム「冒険ハイキング」	13:30	親子自然体験活動 「ツリーイング」
		15:45	またねの会

第3回 11月18日(土)～19日(日)			
13:30	受付	6:45	起床・清掃・荷物整理
14:00	おひさしぶりの会	7:45	朝のつどい・朝食
14:30	ネイチャーゲーム	9:00	おもしろ自転車
17:15	夕べのつどい・夕食	10:00	保護者プログラム 講義「子どものストレスチェック」 子どもプログラム 「吉備の森で自然遊び」
19:00	入浴・読み聞かせ		
20:30	情報交換会		
22:00	就寝	12:00	昼食
		13:30	ファミリーツリー
		15:00	またねの会

第4回 2月10日(土)～11日(日)			
13:00	受付	6:45	起床・清掃・荷物整理
13:30	はじめましての会(ウリソツ合同)	7:45	朝のつどい・朝食
14:00	保護者プログラム 講義「幼児期の子どもと体験活動」 子どもプログラム「工作ランド」	10:00	野外炊事(ウリソツ合同) 餅つき・豚汁・わかめご飯
16:00	交流プログラム(ウリソツ合同)		
17:15	夕べのつどい・夕食	14:00	さようならの会
19:00	入浴・読み聞かせ		
20:00	情報交換会		
22:00	就寝		

(2) 活動の状況



【はじめましての会】



【吉備の自然を探検しよう】



【ファミリーツリー】



【ツリーイング】



【ネイチャーゲーム】



【ネイチャーゲーム】



【保護者プログラム】



【吉備の森で自然遊び】



【工作ランド】



【野外炊事(ウリソツ合同)】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：86% やや満足：14%

(2) 参加者の声

- ① いつもは家の中で遊ぶのが好きな子たちですが、ウーリークラブに来ると、外で遊ぶことをとても楽しんでいるようです。
- ② 参加する前から自然で遊ぶことは好きでしたが、より一層木や草、石、川、虫、魚にも興味を持つようになりました。
- ③ 自然の中で活動することに興味を持つようになり、宿泊することで、子どもたち同士で2日間一緒に時間が長かったので、子供たちも移動中まとまって歩く姿が見られました。仲良くなっているんだなと感じました。

(3) 成果

- ① 吉備での四季折々の自然体験活動が、子供たちの興味関心を高め、家庭での体験活動の増加につながった。(キャンプに行った。カヌーに挑戦した等。)
- ② 親子でプログラムを分けることで、保護者は保護者プログラムに集中でき、講義を通して子育てと体験活動の重要性について考えるよい機会となった。
- ③ 約1年間にわたるシリーズ企画とすることで、家族間の交流の深まりが見られたり、四季の変化を味わったりすることができた。
- ④ 最終回をウリソツクラブと合同開催にすることで、ウーリークラブを卒業した後の体験活動のあり方について提案することができた。

(4) 今後の課題

宿泊プログラムとなった3回目から参加者の数が約半数となった。参加園児の弟や妹の世話でウーリークラブの参加に専念できない事や、冬場の厳しい寒さや積雪(路面の凍結)、またインフルエンザなどの伝染病感染が原因だと考えられる。より多くの家族が、無理なく事業に参加できるように、開催時期や企画内容、運営方法の工夫に取り組みたい。

担当：企画指導専門職 佐藤 泰之